

かば

共感する。
対話する。
そこに
信頼が生まれ
絆は深まる。

1985年、大阪に実在した教師と生徒たちの物語

2020年秋公開予定

製作総指揮・監督・脚本：川本貴弘

山中アラタ／折目真穂／近藤里奈／木村知貴／高見こころ／浅雛拓
鼓美佳／山本香織／さくら若菜／辻笙／石川雄也／牛丸亮／高橋瑞佳／趙博
白善哲／千堂友雅／西山宗佑／竹田哲朗／安永稔／徳城慶太／染谷有香
泉希衣子／秋吉麻希／松山歩夢／富士田伸明／大橋逸生／八松海志
島田愛梨珠／尾尻愛／坪内花菜／井上童夢／石河妃南／中村心姫
島津健太郎／四方堂亘／中山千夏

監督：川本貴弘 / 原作・脚本：川本貴弘 / プロデューサー：加藤雅之 / 編集：田中健詞 / 監督補：清水孝之 / 制作：石井克典 / 助監督：小田芳輝 谷口翔大
撮影監督：木下隆之 / 撮影助手：照明：前瀬福一 奥井剛生 前田智宏 / 録音・整音：長尾暁 / 録音助手：太田有咲 野部晶太 金森雄
美術 装飾：山本直人(レフティーデザイン) / ヘアメイク：角出祐之 森田広樹 / 製作：映画「かば」制作委員会

<https://kaba-cinema.com/>

1985年、大阪の中学校。 実話に基づく教師と生徒たちの青春群像劇。



ストーリー

阪神タイガースのリーグ制覇に沸く1985年の夏、臨時講師として初の職場となる大阪・西成区の松北中学校へ意気揚々と向かう加藤 愛(23歳/折目真穂)。しかし待ち受けていたのは教壇に背を向け座る不良生徒たち。

生徒との向き合い方に悩む中、蒲(43歳/山中アラタ)ら先輩教師の勧めに従ってみるが新任の加藤相手に不良生徒たちは強く反発する。複雑な家庭環境や何らかの事情を抱えた生徒ばかりの松北中学校。

転校早々、番長の繁(松山歩夢)率いる不良グループと争った良太(辻笙)は不登校に、シンナーに溺れる忠功(富士田伸明)、無断欠席した優等生 裕子(さくら若菜)。

蒲ら教師たちは、問題のある生徒たちと正面から向き合い、時には生徒の家庭へ強引に入り込んでまで、彼らの生き方を模索する毎日を送っている。

ある日、卒業した優等生 由貴(23歳/近藤里奈)に偶然出会った蒲は、由貴が打ち明け始めた秘密に言葉を失う。



試作版を観た2万人以上が完成を待ち望んだ作品が、いよいよこの秋公開予定。

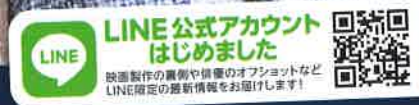
『傘の下』で人に向き合う大切さを描いた川本真弘監督が、再び同じテーマで挑んだこの作品は企画から実に6年の歳月を要した。2年半の取材を経て当時の中学校でどのような学校生活を送られていたのか、教師と生徒が何度もぶつかっては理解し合った姿を知るにつれ、現代を生きる人々への道しるべになるものが作れると確信したという。2017年に試作版を完成させ、これを携え全国各地で上映会を開催、制作への理解を訴え続けた結果2万人を超える人々から完成を望む声が寄せられた。

本作で実在した主人公の蒲先生を演じるのは、自身も大阪出身である山中アラタ。同僚教師役には数多くの作品に出演する木村知貴、また、高見こころ、石川雄也といった実力派の俳優が脇を固めている。ヒロイン加藤先生を演じるのは長編映画初主演となる折目真穂。もうひとりのヒロイン由貴は、オーディションで多数の中から選ばれた近藤里奈。アイドルを卒業、女優として再始動後初の長編映画出演となる。

本作に描かれる、様々な環境のなか懸命に生きた大人たちと子どもたちの姿は、いま失われつつある大切なことを思い起こさせてくれる。

この映画のスポンサーを募集しています。

「かば」は劇場公開とともに、5年以上の時間をかけて日本全国を回り映写するスローシネマ方式での上映を計画しております。企業の皆さまにおいては地方での宣伝・PRを効率良く行える場としてご利用いただけます。お問合せは公式サイトまたは右記までお願いします。



映画「かば」公式ウェブサイト
<https://kaba-cinema.com>

お問い合わせ先〈映画「かば」制作委員会〉
〒556-0026 大阪市浪速区浪速西2丁目10-9
☎06-7506-1760 ✉ info@kaba-cinema.com